スマホ活用システム実証実験

不明者捜索「わかりやすい」

草津「行政とも連携を」

行方不明の認知症高齢者らを想定し、スマートフォンを活用した捜索システムの実証実験が12日、草津市草津2丁目を中心に行われた。開発したIT企業が主催し、市なども協力。徘徊役に付けた発信機の微弱な電波から場所を特定し、早期発見につなげた。

システム開発会社「ナスカ」（栗東市）のスマホアプリ「みつけてnet」を使った。行方不明者に付けた小型発信機が45メートル以内に近づくと、アプリに情報を通知する仕組み。

訓練では、SNSなどで一般市民にアプリのダウンロードを呼びかけ、有効性を検証した。男女の高齢者2人が行方不明になったと想定。捜索役はアプリ情報を活用するチームと活用しないチームに分かれ、それぞれ4組8人で探した。

1時間捜索した結果、アプリ情報のチームは全4組が徘徊役を2人とも発見したのに対し、活用しないチームは2組が1人を見つけただけだった。

終了後の講評で、参加者からは「勘だけで探すよりわかりやすかった」との声が上がった。ナスカ社は「満足のいく結果が得られた。行政とも連携して安心できる地域づくりに貢献したい」としている。（山下悟）

スマホアプリを使った捜索システムの実証実験（草津市草津2丁目）

西嶋副知事（手前）に琵琶湖の印象を語るカナダとオーチ（大津市・県庁）

カナダの選手やコーチら6人が12日、同市の県庁を訪れた。湖上競技を中心に2020年の東京五輪に出場する世界各国の合宿誘致を目指す県の西嶋栄治副知事らに、琵琶湖漕

育館で開かれる「全国マシンローイング大会近畿ブロック大会」を主管するNPO法人瀬田漕艇倶楽部（同市）に招かれ、来県した。

西嶋副知事は「琵琶湖は日本のボート競技

る瀬田川の練習環境を評価した。その一方、同漕艇場が千メートルと五輪種目の半分の距離しか取れない点に触れ、「合宿誘致は韓国や中国も競争相手になる。ハード面の整備があればい

地域おこしへ3人決意

東近江　協力隊員の委嘱式

東近江市で12日、同市愛東地域と八日市駅前地域で活動する地域おこし協力隊員の委嘱式があり、男女3人が農村や中心市街地の活性化に取り組む隊員に就任した。

愛東地域の隊員は、兵庫県伊丹市出身の比嘉彩夏さん（28）と近江八幡市出身の竹内鉄平さん（37）。比嘉さんは大阪市のNPO法人で養蜂に取り組み、愛東では農産物と蜂蜜を生かした特産品作りや農家民宿の開業などに取り組む。竹内さんは大阪市で家具職人として働いていたが、東近江市内での米作り体験を機に四季の移ろいに魅了され、家族との移住を決意。自然農法のPRなどを行う。

八日市駅前地域に就任したのは、日野町出身の革職人で3月に京都産業大を卒業予定の北浦耀司さん（22）。駅前商店街内のヴォーリズ建築をアトリエ兼店舗にし、イベント開催や他作家の誘致で活性化を目指す。

小椋正清市長から委嘱状が手渡されると、比嘉さんは「都会からの来訪者を増やしたい」、竹内さんは「愛東の美しい景色の一部になりたい」、北浦さんは「すごい物が集まる商店街にしたい」と、それぞれの決意を語った。（芝田佳浩）

（左から）＝東近江市役所

北悦さん（きたえつ）8日死去、77歳。自宅は近江八幡市船木町1352。葬儀は10日に営まれました。喪主は夫豊重（とよしげ）さん。《東近江》

中西三郎さん（なかにし・さぶろう）10日死去、89歳。自宅は東近江市上平木町858。葬儀・告別式は13日午前11時半、近江八幡市上田町1310の1のグリーンホール近江八幡で。喪主は長男伝平（でんべい）さん。

田井中正子さん（たい

《近江八幡》

今井万助さん（いまい・まんすけ）8日死去、82歳。自宅は甲賀市信楽町長野1137。葬儀は11日に営まれました。喪主は長男秀典（ひでのり）さん。

吉川一子さん（よしかわ・かずこ）12日死去、86歳。自宅は甲賀市甲南町葛木1321の1。葬儀・告別式は14日午後1時半、甲賀市甲南町葛木715の甲賀斎苑で。喪主は長男貞之（さだゆき）さん。

井代たけさん（いしろ・たけ）11日死去、105歳。自宅は甲賀市水口町高塚。葬儀・告別式は14日午後1時、甲賀市水口町水口6111の1のJAこうかJAホールで。喪主は孫也寸志（やすし）さん。

時、甲賀市水口町八坂2015の水口シティホールで。喪主は長男常人（つねひと）さん。